

第 34 回 安全設計指針検討会 議事録 (案)

1. 日 時 2019 年 12 月 13 日 (金) 13:30~17:30

2. 場 所 日本電気協会 4 階 C 会議室

3. 出席者 (敬称略, 順不同)

出席委員: 今井主査 (東京電力 HD), 山本 (北海道電力), 松藤 (東北電力), 泉 (中部電力), 森本 (北陸電力), 木村 (関西電力), 別府 (中国電力), 山崎 (九州電力), 瀧川 (日本原子力発電), 大口 (電源開発), 二神 (JAEA), 鎌田 (JANSI), 荻野 (三菱重工), 織田 (日立 GE), 田澤 (富士電機)

代理委員: 河村 (東芝 ESS・佐藤委員代理)

欠席委員: 西紋 (四国電力)

説明者: 高橋 (東京電力 HD), 片寄 (東京電力 HD), 黒岩 (MHI NS エンジ)

事務局: 平野 (日本電気協会)

4. 配布資料

資料 No.34-1-1 安全設計指針検討会 委員名簿 (2019-12-13)

資料 No.34-1-2 原子力規格委員会規約 (分科会規約 検討会部分抜粋)

資料 No.34-2 第 33 回 安全設計指針検討会 議事録 (案)

資料 No.34-3-1 JEAG4612「安全機能を有する電気・機械装置の重要度分類指針」に関する委員コメント (2 回目) の意見と対応 [安全設計分科会分]

資料 No.34-3-2 JEAG4612「安全機能を有する電気・機械装置の重要度分類指針」に関する委員コメントの意見と対応 [原子力規格委員会分] (2 回目)

資料 No.34-3-3 JEAG4612-20XX 改定案 (別冊) (S A 編)

資料 No.34-3-4 JEAG4612「安全機能を有する電気・機械装置の重要度分類指針」に関する委員コメントの意見と対応 [安全設計検討会分] (2 回目)

資料 No.34-4-1 JEAG4612「安全機能を有する電気・機械装置の重要度分類指針」の新旧比較表 (案)

資料 No.34-4-2 JEAG4612-20XX 改定案 (D B 編)

資料 No.34-4-3 附属書 B 表 1 電気・機械装置の安全上の機能別重要度分類の例

資料 No.34-5 規格制改定時に対象とした国内外の最新知見とその反映状況

5. 議事

(1) コンプライアンスについて

事務局より, 我が国の独占禁止法, 外国の競争法に対するコンプライアンス遵守のため, 本検討会においても競争法上問題となる話題については, 話し合わないよう協力をお願いがあった。

(2) 定足数の確認, 代理出席者の承認について

事務局より, 代理出席者 1 名の紹介があり, 主査の承認が得られた。本日の出席委員は代理を含めて 16 名であり, 委員総数の 3 分の 2 (12 名) 以上の出席という検討会決議条件を満たしているとの報告があった。

また、事務局より、本日の説明者3名の紹介があった。

(3) 主査の選出について

事務局より、資料 No.34-1-2 に基づき、主査の任期が2年であり、今井主査が1期目の任期が満了したこと、4回まで再任が可能であること、主査は委員の互選で選任されることの説明があった。

主査候補の推薦を求めたところ、今井委員を主査候補とする推薦があった。他に候補がないことを確認の後、挙手にて、今井委員を主査に選任した。

また、今井主査から、副主査として山本委員の指名があり、山本委員は受諾された。山本副主査から挨拶があった。

(4) 委員の変更について

事務局より、資料 No.34-1-1 に基づき、第43回安全設計分科会で承認された新委員3名の紹介があった。

(5) 前回議事録

事務局より、資料 34-2 に基づき、前回議事録の内容説明があった。コメントなく承認された。

(6) JEAG4612「安全機能を有する電気・機械装置の重要度分類指針」改定について

主査より JEAG4612 改定スケジュールについて説明があった。1/20 安全設計分科会、3/30 原子力規格委員会に上程する。

a. 安全設計分科会分コメント対応について

資料 34-3-1 により説明があり議論を行った。主なコメントと回答は以下の通り。

- ✓ コメント No.1-2 (計測制御系の重要度について)
→検討結果欄のクラス1と2の表は計測検討会側の過去資料の抜粋であり、ただし書きから表までを削除する。
- ✓ コメント No.3-1
→独立性が重なっている表現があるため、片方の独立性を削除する。
- ✓ コメント No.3-2
→デジタル I&C のクラス分けの検討状況についてこの表現で良いのか主査から計測検討会側に確認を行う。
- ✓ コメント No.4-2
→P8以降がガイドの構成となっており、SAクラスの定義と機能の後にフローを配置するなど、構成を再検討する。
- ✓ コメント No.5-1
→異クラスの接続については、クラスによって分類している旨の記載とする。
- ✓ コメント No.7-1
→資料 34-3-3 の 7.1 の表現に修正する。

b. 原子力規格委員会分コメント対応について

資料 34-3-2 により説明があり議論を行った。主なコメントと回答は以下の通り。

- ✓ コメント No.0-1
→黄色マーキング箇所を別冊ではなく，P7 解説-12 に記載する旨，修文する。
- ✓ コメント No.0-3
→黄色マーキング箇所を解説ではなく，P57 附属書 C に記載する旨，修文する。

c. 安全設計検討会分コメント対応について

資料 34-3-4 により説明があり議論を行った。主なコメントと回答は以下の通り。

- ✓ 附属書 A に重要度分類の例を PWR，BWR の代表プラントで記載しているが，記載レベルの整合性等について問題ないか，東電殿，関西電力殿がメーカーと確認を行う。

d. JEAG4612 「安全機能を有する電気・機械装置の重要度分類指針」の新旧比較表(案)

資料 34-4-1 により DB 編に関係法規・規格の改正，修正及び防護対策設備に関する説明が追加されたことが説明された。

なお，安全設計審査指針については，構成上，関連法規・規格として残すこととし，設置許可基準規則の前身となる「旧安全設計審査指針」として参照する形とした。

e. JEAG4612 名称及び上程について

主査より，現在検討中の DB 編，SA 編に分かれている JEAG46121 については合本すること，名称については「安全機能，重大事故等に対処するための機能を有する電気・機械装置の重要度分類指針」としたい旨の説明があり，全員の賛成をもって承認された。

また，本日のコメントを反映した上で，分科会に上程することが，全員の賛成をもって承認された。

f. 規格改定時に対象とした国内外の最新知見とその反映状況

- ✓ (2)の原子力安全の基本的考え方について第 1 編別冊でる旨を追記。
- ✓ (3)に IAEA SSR を追記。
- ✓ (3)の EUR は非公開のため削除。(セミナー発表資料であれば問題ない)

以 上